

でいる所が多々ある。しかし、私道の関係者が自費で舗装工事などを行うには多額の経済的負担がかかる。助成制度はあるが、利用するには私道の所有者全員の了承と印鑑登録証明書が必要となる。所有者全員を探るのが困難なため、未整備の私道が多く存在している。努力しても所有者が特定できず、公道に連絡している場合など、区が臨機応変に舗装整備を行うべきと考える。安心して移動できるやさしいまち・中野を目指しているのであれば、真摯な検討を行うべきと考えるがどうか。

区長 関係先への照会にも一定の限界が想定されることから、所有者の特定が極めて困難な事例など、場合によって事例に則して判断し、対応している。

障がい者の就労支援に積極的な取り組みを

障害者自立支援法の施行に伴い、障がい者が自立できる就労支援が、自治体に強く求められている。①区自らが区の業務の中で障がい者が担える仕事を創設し、雇用拡大を図るべきと考えるがどうか。

また、障害者福祉事業団、福祉作業所などの関係者が協議する場を、率先して設置すべきと思うがどうか。②区内には、障がい者の就労拡大に取り組む特例子会社が1社もない。積極的に民間企業と連携し、設立を検討すべきではないか。



広聴相談室での専門相談

支援担当窓口の一本化を

6月末、私の住む地域で放火と疑われる火災が発生し、亡くなった方もいた。被害者の方は未明に焼け出され、悲しみに暮れる間もなく、警察、消防、地域

犯罪被害者支援とは、事件や事故に遭遇した被害者本人、またはその家族、遺族に対する支援のことで、自殺した方の遺族なども含まれる。犯罪被害は、いつ、誰の身に降りかかるかもしれない事態で、被害者は、突然、つらく厳しい現実を突きつけられること

なる。不幸にして事件・事故に遭った犯罪被害者などに對して、区はどのような支援策を講じているのか。

区長 区では、各種相談業務の中で、犯罪被害を受けた方々からのさまざまな相談に応じているほか、心のケアについては保健福祉センターで対応している。

区の責務として 犯罪被害者を支援せよ



無所属 近藤 さえ子

平成16年に制定された犯罪被害者等基本法では、地域状況に応じた施策の策定と実施が、地方公共団体の責務とされている。人生の中で予想もできない絶望的な状態に陥ったとき、身近な自治体が果たす役割は大きい。杉並区では支援条例を制定し、ヘルパー派遣など具体的な支援を始めている。区でも、法に基づき支援すべきではないか。

いか。③自社の使用済み文書を100%自社に再生循環させるシステムを、障がい者が扱えるように整備したビジネスモデルがある。障がい者雇用拡大、環境や情報漏えい防止の面からも有効と思う。導入を検討すべきではないか。



再生利用可能なシュレッダー

区長 ①区の業務における障害者雇用のあり方について、現在検討を進めている。また、各事業所間で就労支援ネットワークがあり、仕事の受注管理や就労機会の拡大などの活動を行っている。これを活用していきたいと考えている。②区が直接設立することはできないため、現在検討を進めている。③個人情報保護文書を除く使用済み文書は、再生利用できるシュレッダーを導入し、循環システムに乗せている。これを100%再生循環するため、ISO14001の取り組みの中で検討している。

の方々への対応に追われている。被害者は、マスコミ報道による二次的被害、長く続く恐怖やトラウマ、収入途絶による生活崩壊などの苦悩の中、葬式の準備から、区役所、警察、裁判所などの手続きをすべて個人で行わなければならない。区に支援担当を置き、窓口一本化などに取り組んではどうか。

区長 野方警察署の野方被害者支援ネットワーク、中野警察署の中野警察署犯罪被害者支援連絡会に参加し、被害者支援に関する情報交換や業務を通じた被害者支援活動などの活動を行っている。

平成17年度 決算を問う 総括質疑 決算特別委員会

- 決算特別委員会では、9月27日から10月2日までの4日間、14人の議員が決算全般について、質疑を行いました。質疑の項目と主な内容は次のとおりです。
- | | | |
|---|---|---|
| <p>1 狭あい道路拡幅整備事業について</p> <p>2 妙正寺川激甚災害対策特別緊急事業について</p> <p>3 平和の森公園の利用と整備について</p> <p>4 総合防災訓練について</p> <p>5 学力向上に対する取り組みについて</p> <p>6 児童の体力向上プランについて</p> <p>7 選挙の投票率を上げるための施策について</p> <p>8 選挙時の公約について</p> <p>佐藤 ひろこ (市 民)</p> <p>1 高齢者・障がい者の在宅生活の支援について</p> <p>2 地球環境にやさしい地域づくりについて</p> <p>3 受動喫煙防止の取り組みについて</p> | <p>1 05年度決算について</p> <p>2 警大等跡地問題について</p> <p>3 介護保険について</p> <p>4 火災報知器の設置義務化について</p> <p>5 中野駅の改善について</p> <p>6 その他</p> <p>藤本やすたみ (民 主 党)</p> <p>1 特別区税と江古田の森周辺まちづくりについて</p> <p>2 パリアフリー整備構想の実行計画について</p> <p>3 住宅マスタープランと建て替え予定の都営鷹の宮アパートについて</p> <p>4 施設の再配置計画と鷹宮地域センターの耐震化について</p> <p>5 地域交通整備、コミュニティバス「なかのん」について</p> <p>6 地域災害情報システムについて</p> <p>7 10か年計画と民間活力の導入について</p> <p>8 奨学金について</p> <p>9 高齢者情報データベースと情報一元化システムの導入について</p> <p>岩永 しほ子 (共 産 党)</p> <p>1 子育て支援について</p> <p>2 10か年計画について</p> <p>3 指定管理者制度について</p> <p>4 地域包括支援センターについて</p> <p>5 図書館施策の拡充について</p> <p>6 地域課題について</p> <p>佐伯 利昭 (民 主 党)</p> <p>1 最重要問題としての「教育」について</p> <p>2 家族や地域社会の絆を大切にすることについて</p> <p>3 男女共同参画基本計画について</p> <p>4 西武新宿線の連続立体交差事業について</p> <p>5 生活保護受給者の自立支援について</p> <p>6 平成17年度決算審査意見書について</p> <p>7 その他</p> <p>むとう 有子 (無所属)</p> <p>1 子育てサービスの充実について</p> <p>2 学力調査結果の活用について</p> <p>3 中野サンプラザについて</p> <p>4 その他</p> <p>奥田 けんじ (無所属)</p> <p>1 耐震問題について</p> <p>2 区民の利害対立の解消支援について</p> <p>3 区の広報戦略について</p> <p>4 区立図書館について</p> <p>5 商店街の夜間利用促進について</p> | <p>1 中野区の財政について</p> <p>2 公会計制度について(発生日義会計と現金主義会計)</p> <p>3 課税自主権について</p> <p>4 中野区人材育成計画について</p> <p>5 中野区掲示板について</p> <p>6 その他</p> <p>佐野 れいじ (自・民)</p> <p>1 学校教育の環境整備の充実について</p> <p>2 広告事業について</p> <p>かせ 次郎 (共 産 党)</p> <p>1 自治体財政の自立について</p> <p>2 公金の運用について</p> <p>3 学校や区施設の室内空気環境について</p> <p>4 中野区と都防災センターのかわり方について</p> <p>5 防災行政無線について</p> <p>6 災害時の公衆浴場のあり方について</p> <p>7 家屋における可燃物管理のあり方について</p> <p>岡本 いさお (公 明 党)</p> <p>1 子育て支援と教育行政について</p> <p>2 まちづくりについて</p> <p>3 医療行政について</p> <p>4 学童クラブについて</p> <p>5 産業振興について</p> <p>6 区民のマナー啓発について</p> <p>7 学校行事について</p> <p>市川 みる (自・民)</p> <p>1 子育て支援と教育行政について</p> <p>伊東 しんじ (自・民)</p> <p>1 最重要問題としての「教育」について</p> <p>2 家族や地域社会の絆を大切にすることについて</p> <p>3 男女共同参画基本計画について</p> <p>4 西武新宿線の連続立体交差事業について</p> <p>5 生活保護受給者の自立支援について</p> <p>6 平成17年度決算審査意見書について</p> <p>7 その他</p> <p>篠 国昭 (自・民)</p> |
|---|---|---|